

令和5年度行政マッチング商談会行政課題・ニーズ一覧表

別紙2

No.	部名等	課名等	現状の課題	課題解決のためニーズ	想定される製品・サービス	備考
1	企画政策部	秘書課	秘書課で実施する行事（市制記念式典、名刺交換会等）の参加者への記念品について、新たなものを検討したい。	新たな記念品の作成	記念品（500円程度）の提案 新年に開催される名刺交換会の参加者に渡す記念品として、春日井市らしさと新年の晴れやかさを兼ね備えたもの。複数年参加する人も多いため、その点も考慮してほしい。 また、市制記念式典は、令和10年度に85周年、令和15年度に90周年をむかえるため、その際の記念品候補として提案を希望。	
2	総務部	総務課	来庁者窓口の混雑を緩和したい。	マイナンバーカードを読み込むことにより、現在市で手続き中の一覧が分かるようなもの。その後、手続き部局への道案内（市役所内）が出来るようなインフォメーション。	タッチパネル式のインフォメーション	マイナンバーカードに行政側の手続き情報を掲載することは他部局のシステムとの連携が必要なため、実現が難しい可能性が高い。その場合、手続き一覧から選択式で案内する案内板でも提案を希望します。
3	文化スポーツ部	文化・生涯学習課	成人式の際に、記念に残るような写真が撮れる写真スポットを会場内に設置しているが、撮影のために列ができてしまうため、スマートフォンのアプリなどにより、どこでも撮影できるオリジナルのフォトフレームで撮影できるようにしたい。	ホームページ等から簡単にアクセスし撮影できるARのフォトフレーム	ARフォトフレーム（3パターン、2万円程度）	
4	文化スポーツ部	道風記念館	小規模施設であり、エントランスも十分な広さを持たないが、入り口の受付では、販売書籍・物品の設置やアンケート記入場所、スタンプ台の設置等が必要である。清掃や整理整頓は怠らないが、所狭しと物があり、すっきりとしていないのが現状である。	エントランス部分について、美術館らしい雰囲気演出	不要看板を撤去もしくは被覆。（コンクリートと一体化しており、撤去は難しいといわれたので、未撤去である。） 販売書籍や物品の効率的かつ美しいディスプレイ法の提案。 受付内部の事務室が来館者から丸見えにならないよう、ガラスへのカラーフィルム貼付等。	
5	文化スポーツ部	高蔵寺ふれあいセンター	当センター主催の講座を検討しているところであるが、「多様なニーズに応じた学習機会、学びにつながるきっかけづくり」の提供を目的として、毎年実施していきたい。新たな分野の講師について、その依頼先を見つけるのに苦慮している。	各企業が持っているノウハウを活用した新規講座の企画・立案とそれを進めてくれる講師	各企業が持っている技術やサービスを使った生涯学習講座の企画の提案をしてくれ、講師を紹介・派遣してくれるサービス	
6	文化スポーツ部	高蔵寺ふれあいセンター	外国籍の来所者に対して言葉が通じず、対応に苦慮することがある。他課保有の対話型翻訳機を借用したこともあったが、この機種は製造終了してしまったため、入手困難となってしまった。	来所者と職員双方にわかりやすい翻訳機が必要。	前述した対話型翻訳機のような製品もしくは課題やニーズに対応できる推奨品（想定金額150,000円程度）。	フリーWi-Fiもしくは安価の回線使用ができるもの、維持の手間（費用、メンテナンス面等）ができるだけかからないものが望ましい。
7	文化スポーツ部	南部ふれあいセンター	元来、当施設へアクセスする交通機関が脆弱なため、施設近隣以外に在住の利用者は自家用車等で来所されている。そのため、駐車場の利用が多く、仕切り線等の経年劣化が目立ってきている。また、未舗装の駐車スペースは仕切り線がないため、利用者が駐車の際にどこに駐車して良いのか迷われる場合もある。よって、利用者が事故やストレス無く安心して駐車できるように駐車場を整備する必要がある。	1 未舗装部分の舗装及び区画ライン引き等整備 2 既舗装部分のライン引き等整備 3 思いやり駐車場の増設	本件の課題をクリアできる整備内容であれば可 （価格は未想定、低コストを希望）	
8	文化スポーツ部	南部ふれあいセンター	築30年以上が経過し、建設時に設置された施設内外の案内看板等が経年劣化しているので取替が必要。	1 各部屋入口設置の表示看板のリニューアル 2 風除室壁面設置の案内看板のリニューアル 3 敷地内に設置の案内看板等のリニューアル	本件の課題をクリアできる内容であれば可 （価格は未想定、低コストを希望）	

No.	部名等	課名等	現状の課題	課題解決のためニーズ	想定される製品・サービス	備考
9	文化スポーツ部	西部ふれあいセンター	来館者が多い貸館や催事が重なると駐車場が満車になる。南側駐車場と北側駐車場の駐車状況を把握するためには職員が出向く必要があるが、満車になる状況の時は、貸館の受付業務や催事の事務に職員が対応しているため、直ぐに駐車状況を把握できないことがある。また、南側駐車場は事務所から離れているため特に状況が把握しにくい。	屋上に監視カメラを固定設置し、事務所でモニター画面を確認して、南側駐車場と北側駐車場の駐車状況を把握できるようにする。	監視カメラと小型モニター、設置工事一式 想定価格：できる限り安価なもの	
10	文化スポーツ部	中央公民館	当公民館では、住民等への貸館業務を担っているが、防音加工を施していない老朽化施設であることから、隣室からの音漏れによる弊害は大きい。 最近では、音を出す使用者に対して、紙面等で他室への配慮協力を周知したり、利用室の空き状況によっては、隣合わせにならない利用室を使用してもらうなどで対応しているものの、利用料金の関係もあり強制できない場合もある、 楽器音などの制限には限界があることから、音を軽減する方法を模索したい。	利用者の多くは、高齢者を対象とした生きがいを見つける講座やグループ活動によるものであるため、利用者の目的が達成することができ、気分よく使用できる環境を提供する。	遮音性の問題が重要ではあるが、大規模なリフォーム工事ではなく、簡易的な防音パネルや遮音カーテンなどの安価なもので対応したい。	
11	文化スポーツ部	知多公民館	大雨の日に、玄関マットを複数に増やして床濡れ防止の対応をしているが、どうしても濡れてしまうので、職員がモップなどで拭いて、利用者の転倒防止に配慮している。 (かなり高齢の来館者も多いため。)	下記の内容を網羅しているマットを敷きたい ・来館者の靴裏の水を完全にキャッチし、廊下が濡れないレベルの吸水力がある ・来館者がマットにつっかかって転ばないように、安定感がある ・メンテナンスがしやすい(なるべく軽量で干しやすいもの。また、簡単に洗浄可能なもの)	耐久性は必要だが、マットは消耗品の性質もあるため、できるかぎり低コストで買い替えがしやすい程度の価格のもの。	
12	文化スポーツ部	鷹来公民館	令和6年度大規模改修工事に向け、不要物品の整理を行っているが、使用頻度が低い良品が見つかった。その物品を必要とする方を見つけ、売り、歳入にしたいが、ノウハウがないため、破棄せざるを得ない状況となっている。	物品を買取してくれる、または買取の仲介を行っている事業者を見つけたい。	鷹来公民館の不要物品を買取、または買取の仲介をしてもらえるサービスの提案を希望。	
13	文化スポーツ部	坂下公民館	当館の展示スペースは、ギャラリーが西側の掃き出し窓、ショーケースが中庭の窓に面している。このため、展示作品・展示物が日に焼けやすく、それが理由で展示をためらう人もいる。 また、図書室も建物の南西側にあり、所蔵本が日に焼けやすい。	既存の窓の採光性を損わずに紫外線をカットする。	紫外線をカットする窓用フィルム・スプレーなど (フィルム参考価格@アマゾン) ・リントック コマース 92cm×2m 3,322円 ・サンゲツ クレアス 1m×97cm 2,257円 +工賃	窓の面積 ギャラリー西側掃き出し窓 25㎡ 中庭窓(ホール以外) 49.2㎡ 図書室窓 34.6㎡
14	文化スポーツ部	青年の家 (ハーモニー春日井)	ハーモニー春日井は、音楽・芸能の練習に特化した施設として、防音のホールや練習室等を備え、個人や団体の音楽芸能活動をサポートしています。自主事業として、ピアノ入門講座など年間10数講座を開講していますが、企画立案を担当する職員に音楽芸能分野の知識や人脈が不足しており、以下のような問題があります。 (1)新しい講師を探すことが容易ではありません。そのため、需要が大きい講座(ギター等)を開講できておりません。 (2)新しい分野の講座のアイデアはあっても、企画がなかなか進みません。講師の確保のみならず、必要な機材の調達などが職員の独力では難しいのが実情です。	以下のような講座を開講できれば、市民のニーズに応え、受講者を多く集めることができると考えます。 (1)主に中高年向け： ・若い頃に経験した楽器のやり直し(ギターなど) ・一度やってみたい楽器(エレキギター、ドラム、サクソ、キーボード等) (2)比較的若い人、新しいものが好きな人向け： ・ネット音楽系の講座(ポカロイド入門など)	楽器販売店、音楽教室等の皆様から、音楽系講座の持ち込み企画を募集します。(講師やカリキュラム、受講者への楽器貸出サービスなどをセットしたもの) ・1講座の回数は8回程度 (講師謝礼は1回あたり8,000円、助手1人1回あたり3,000円) ・講座修了後も受講者が練習を続けられるよう、楽器・教材の紹介や、講師による初中級者向けサークルの運営等にご協力いただけるとありがたいです。	市民の関心が高く、文化振興と事業発展の両立につながるような講座の提案を期待しています。
15	文化スポーツ部	東部市民センター	東部市民センターで開催している市民向けの講座について、新たな分野の講座や講師を開拓したいが、その依頼先を見つけるのに苦慮している。	新しい講座の企画・立案とそれを進めてくれる講師	新しい講座の企画・立案をしてくれ、講座を動めてくれる講師を紹介・派遣してくれるサービス	令和2年度に紹介して頂いた企業がかなり評判が良いため、引き続き同じ依頼をしています。

No.	部名等	課名等	現状の課題	課題解決のためニーズ	想定される製品・サービス	備考
16	文化スポーツ部	スポーツ課	スポーツ課が管理している屋外グラウンドのうち12箇所は、駐車場を南京錠にて施錠している。6箇所についてはカギ開けを私人に委託しており、その他6箇所についてはカギを借用するためスポーツ課等にきていただいている。私人への委託は継続性が課題となっており、スポーツ課等への借用のための来館は利用者の不便となっている。	継続かつ安定的で利用者の利便性の向上につながるカギの開閉の仕組み	グラウンド近隣の事業所等の協力やリモートで開け閉めをすることができる設備（ただし、閉じ込めを防ぐような仕組みが必要）	
17	文化スポーツ部	図書館	現在、図書館主催イベントへの参加記念品として、数年前に調達した鉛筆、消しゴムの在庫を使用している。読書や図書館通いに使えるものを記念品とすることで、読書啓発の効果を高め、小学生のイベント参加や次の読書を促したい。	読書、イベント参加、図書館への来館を促進できるような図書館独自の記念品を制作したい。	例えば、しおり、ブックカバー、トートバック、カードケースなど 想定価格：1個当たり500円程度	
18	かすがい市民文化財団	総務グループ	車イスの貸出しが職員・利用者ともに不便。 通常、貸出しをする際は、利用者が建物入口（B2、B1、1階2ヶ所）からインターホンで職員に依頼。職員は2階事務所から車イスの格納庫へ移動し、そこから車イスを出して利用者のもとへ運ぶ。利用後の回収をする際は、利用者が再度インターホンで職員に伝え、2階事務所から職員が回収に向かい、格納場所へ車イスを戻している。 イタズラ防止のための運用ではあるが、インターホンでの意思疎通が難しかったり、車イスが既に利用されている場合は、他の場所へ探しに行かねばならないことがあり、利用者を快適でない場所で待たせてしまう。	利用者を待たせないようにするため、職員への依頼を介さず、利用者自身でスムーズかつ安全に使えるようにしたい。	ショッピングモールにあるような、連結されたカートを1コイン（100円）で使え、戻すと100円が返って来る仕組みで、車イスを安定的にその場から出し入れすることのできる仕器	
19	かすがい市民文化財団	施設サービスグループ	文化フォーラム春日井内の「スカイフォーラム」「キッズコーナー」「文化情報プラザ」など、職員が常駐していない施設で、施設利用者数の正確なカウントができていない。	現在は「簡易型通過人数デジタルカウンター・ナンニンダー」を使用しているが、反応が悪くカウントができないことがある。また、同じ人物を何度もカウントしてしまうため、正確な集計が取れない。	顔認証カメラ等を使った利用者人数集計システム	
20	春日井市スポーツ・ふれあい財団	総合体育館・温水プール	雨漏りやシャワー使用箇所においてカビが発生している	カビの発生防止による施設の衛生保全および老朽化の防止	防カビ商品（塗料など）	
21	健康福祉部	地域福祉課	福祉の里レインボープラザ2階のレストランスペースについて、令和3年度末の閉店以降空室となっている。 令和5年度4月～5月にかけて、出店希望者を公募したものの応募者はなかった。 現在、空きスペース（客席、厨房等）の活用方法を検討している。	空きスペースの有効活用につながるノウハウ、アイデア ※利用者からは、飲食店の再開を望む声が多いため、原則、飲食ができる空間としての整備を想定	・飲食店、喫茶店 ・弁当販売、調理機能付き自動販売機の設置 + フリースペース 等	福祉の里レインボープラザ （春日井市神屋町字引沢57番地1） 想定される主な利用者は福祉の里を利用する高齢者。 客席 191.5㎡ 厨房（前室含む） 102.8㎡ 食品庫 6.9㎡ 更衣室、休憩室 65.9㎡
22	健康福祉部	障がい福祉課	障がい者の方が制作した商品のPR、販売力の強化を図り、売上アップとともに、商品制作者のやりがい向上につなげたい。 また、障がい者の就労機会の創出、経験値の向上とともに、障がい者理解の促進に繋げていきたい。	障がい者が制作した商品を販売するための仕組み	制作する商品の提案、制作手法の提案、販売方法の提案  制作する商品の例 なんらかの商品のラベル、置物、手作り雑貨、アレンジフラワー等	製品を制作するのは、就労継続支援A型事業所、B型事業所を想定。 事業所は複数あるため、提案内容にマッチする事業所があれば、当課から案内する予定です。
23	環境部	環境政策課	学習等共用施設の雨漏り、水漏れ。市職員による現地確認時バルコニー床面と沓摺の隙間や窓サッシや空調室外機と外壁の隙間等、おおよその原因特定までしかできず、業者に調査・修繕を依頼する必要があるため、修繕完了までに時間を要する。	原因と推定される箇所に職員で応急処置を行い、雨漏りが解消されるようならそのまま修繕完了としたい。	防水シート・テープ等 貼り付け先の材質や形状の自由度が高く施工性が高いものが望ましい	
24	環境部	クリーンセンター（エコメッセ春日井）	エコメッセ春日井では、ごみの減量と資源の再利用に関する情報並びに体験学習の場を提供し、市民意識の啓発を図るうえで、魅力ある講座の開拓が継続して必要である。	春日井市内の企業や近隣の先進的な取り組みをされている企業、NPO団体など、各企業や団体のノウハウやアイデアも生かしながら、エコメッセ春日井という環境啓発を行う場の活性化を継続して進めたい。また、受講年齢を幅広く考え、多くの市民に参加してもらえるような魅力多様な講座を考えたい。	材料、講師は企業からの提供とし、その企業の特徴を生かした作品作りの講座を行いたい。市の予算は一講座あたり、講師代8,000円、助手1名3,000円です。受講者からは、材料代として別途一定金額を徴収します。	大人向け講座（1講座1時間30分） 子ども向け講座（保護者同伴）（1講座1時間30分）

No.	部名等	課名等	現状の課題	課題解決のためニーズ	想定される製品・サービス	備考
25	まちづくり推進部	住宅政策課	市営住宅等の入居者の高齢化が進む中、生活をしていくうえでの様々な問題を入居者が自力解決できない場合が増加してきている。	入居者間の共助力を高めるような考え方や方法の提案。 また、必要に応じて自治会と連携した取組ができる人材の派遣		
26	建設部	道路課	JR春日井駅前広場のベンチ周りの透水性インターロッキングブロックの汚れがひどく、通常の清掃ではほとんどきれいにならない。見た目がとても汚いので、どうにかきれいな状態にしたい。高圧洗浄を試したが、目地の砂が飛んでしまい、返って汚くなってしまった経緯があり、清掃での対応は難しそう。	スチーム洗浄（目地の砂に影響がない方法）や塗装等によるインターロッキングブロックのリニューアル	インターロッキングブロック用の塗料による塗装が、一番現実的だと思われるが、これに限らず、インターロッキングブロックをきれいに蘇らせる方法があれば提案を希望。 想定価格：1万円程度/m <sup>2</sup>	令和4年度中に同課題を提出しましたが、解決に至らなかった（事業者からの提案がなかった）ため、今年度も引き続き課題としています。
27	建設部	道路課	道路パトロールにおいて、パトロールした通行履歴を記録するために、帰庁後、記憶をたどり、地図に色付けしている。月ごとに色分けしている。 ・記憶があいまいな時があり、不正確 ・手間がかかる	スマートフォンを所持しているため、GPS機能から通行ルートを記録できるようなアプリ等があると良い。 ・地図上に通行ルートが線が出てくる ・通行日時が地図上で判明する（線をタップすると、日時が出る） ・エクスポート機能		
28	上下水道部	配水管理事務所	①春日井市では自己水源としての地下水源を有している。地下水源では水中モーターポンプを用いて揚水しているが、地下水中にある吸込口ストレーナが水源内にある汚泥状の土砂等により詰まりが発生し、揚水量の経年による低下が頻発する状況となっており、その都度水中ポンプの入替が必要となりコスト面でも課題になっている。 ②また、地下水源の井戸内に設置するケーシングのスクリーンも、汚泥状の土砂等により詰まりが発生し易いので、同様に課題となっている。	①水中ポンプ吸込口ストレーナー部の土砂詰まりを予防できる機構、もしくは予防手法。 なお、機構、手法ともポンプ運転中に実施可能であることが望ましく、ポンプを引き上げることなく実施可能であることを前提とする。 ②井戸ケーシングのスクリーンも同様に予防できる機構、もしくは予防手法があれば採用を検討したい。	①水中ポンプ吸込口ストレーナー部の土砂詰まりを予防できる機構、もしくは予防手法の開発および提案 ②井戸ケーシングのスクリーン部の土砂詰まりを予防できる機構、もしくは予防手法の開発および提案	
29	上下水道部	配水管理事務所	春日井市では、上水道施設において送配水設備として多種のポンプを適用し運用している。ポンプは頻繁に運転し日々点検で状態を監視しているが、不具合発生は予兆なく突発的に発生することが多く、水道水の断水を発生させないためには未然に不具合発生を防止させる必要がある。 しかし、現状の監視項目であるポンプの吐出圧、吐出量、電流値等ではその予兆までは見極めることが困難であることが課題となっている。 特に水中ポンプにおいては摺動部の異常加熱等による電動機部への浸水、絶縁不良の発生が常に懸念される課題となっている。	・吐出圧、吐出量、電流値以外の計測値等による、ポンプの状態監視とその故障予測機能	・地上ポンプにおける状態監視と故障予測システムの提供 ・水中ポンプにおける状態監視と故障予測システムの提供	
30	上下水道部	配水管理事務所	春日井市では、上水道施設において送配水設備として多種のポンプや減圧装置を適用し運用している。一方で、比較的簡易な施設においては各種設備の監視を簡略化し遠方にある配水管理事務所等で監視しない構成にしており、特に減圧装置については全て配水管理事務所等で監視できていない状況である。 よって、設備の異常などにより故障が発生してもその異常発見に時間を要し、故障による被害が継続さらには拡大する懸念がある。	比較的安価に遠方から監視できる仕組みを構築する。一定のセキュリティを確保できればWeb上での監視でも可とする。 電源が無い施設もあるため、電池等による電源供給で無線等による通信での遠隔監視できる仕組みとする。	・圧力測定器とその計測値の遠方への通信する装置の販売または貸出 ・Web上等においての監視システムの構築	
31	上下水道部	配水管理事務所	春日井市では、上水道施設のポンプ設備等動力設備の監視点検に振動計を用いている。 本振動計、特に作業効率性を鑑みて縦・横・上下3方向の振動計測が可能な三次元振動計を用いていたが、故障が頻発しさらにメーカー修理時間が長期間化し、実質使用できない状況にある。	新製品や既製品、開発品を問わず、新たな計測器が入手したい	三次元振動計の販売、または貸出。	

No.	部名等	課名等	現状の課題	課題解決のためニーズ	想定される製品・サービス	備考
32	上下水道部	配水管理事務所	①配水管理事務所では水道水の検査を行うため、多種の試薬を使用・保管・管理している。 ②試薬ごとに出入庫を記録しているが、保管数を一元に把握できていない。 ③試薬の廃棄のため、開封後の経過日数を把握したいが、現在の台帳では管理できていない。 ④リスクアセスメントが必要な試薬かどうかの確認に手間がかかっている。	①多種の試薬の購入・保管・廃棄状況を把握できるシステム。 ②試薬の種類・項目の加除が簡易にできるもの。 ③リスクアセスメントが必要な試薬かどうかの確認のため、データ照合ができるもの。	タブレット形式で試薬を現場で確認しながら、入力できるシステム。	
33	上下水道部	配水管理事務所	配水管理事務所では水道水の検査を行うため、多種の試薬を購入しているが、市外の業者からの購入が多く、試薬を販売する代理店を十分に把握できていない。	試薬の販売を請負うことができる市内の代理店又は販売店の開拓。	富士フィルム和光純薬株式会社製、または関東化学株式会社製の試薬の納品	
34	上下水道部	配水管理事務所	配水管理事務所では水道水の検査を行うため、多種の理化学機器を使用しているが、市外の業者からの購入が多く、取扱代理店を十分に把握できていない。	理化学機器の販売を請負うことができる市内の代理店又は販売店の開拓。	水道水質検査に用いる理化学機器及び消耗品の納品	
35	会計管理者	会計課	会計課の支出においては、一件の請求（支出）で一回の支払いを行っているため、請求者に対して、支払日ごとに支払金額を通知していない。将来的に複数の請求を合算して支払うことを検討しており、この場合は支払いの明細を通知する必要があると考えている。	圧着ハガキ等による通知では作成コストと送付コストがかかるため、電子的に通知を行いたい。	①会計課がクラウドのシステムにメールアドレスと明細をアップロードし、指定した期日にメール配信するもの。 ②会計課がクラウドのシステムに相手方番号と明細をアップロードし、事前にパスワードを受け取った業者等が照会を行うもの。アップロードした時点でのメール配信は行わない。	
36	会計管理者	会計課	会計課が使用しているOCR装置には納入済通知書の仕分け装置（ソーター）がついており、複数の種類を同時に自動で仕分け、金額等の集計を行っているが、当該製品が生産中止となり、近い将来には手作業による仕分け作業が必要となる。	装置で仕分け作業を行う	OCR処理後の納入済通知書の大きさや記載されたID等で納入済通知書を光学認識し、10～20程度の種類毎に仕分及び件数、金額の集計を行うことができる装置	
37	議会事務局	議事課	議員の出退盤について  現在、庁舎内に設置している議員の出退盤については、市長部局職員が自席で議員の在庁状況を確認することができない。そのため、事務局が電話を受け状況を伝えている。本会議、委員会前は特に状況確認の照会に追われて通常業務が圧迫されることが多い。	出退盤のモニター化  現在議会内でDX推進の方針が打ち出されており、令和6年度にはタブレットを議会内で調達する予定である。そのため、そのタブレットと同期する形で、出退盤に変わるモニターを設置し、議員の在庁状況を示せるようにしたい、また、市長部局が自席でもその状況を確認できるようにしたい。	・モニターの設置 ・庁舎内で在庁状況を確認できるシステム調整	